

# Gel Symposium 2027

-15<sup>th</sup> Joint International Symposium on Polymer Gels and Biomedical Polymers-

ゲルシンポジウム 2027

第 15 回 高分子ゲルと医用高分子に関する合同国際シンポジウム

## 協賛趣意書

大会長 (順不同)

松元 亮 (東京科学大学)

田中 賢 (九州大学)

James Lai (National Taiwan Univ. of Science and Technology)

# 目次

1. 代表者挨拶	.....	2
2. 開催概要	.....	4
3. シンポジウム組織	.....	5
4. 企業展示のご案内	.....	7
5. バナー広告	.....	10
6. 寄附金募集のご案内	.....	12

# 1. 代表者挨拶

謹啓

このたび、高分子ゲル分野と医用高分子分野の研究者が協力して、ゲルシンポジウム 2027（第 15 回 高分子ゲルと医用高分子に関する合同国際シンポジウム）を企画・開催いたします。第 1 回の筑波（1989 年）から第 14 回の沖縄（2024 年）まで、いずれも高分子ゲル研究者が単独で主催し、日本各地で盛況のうちに開催してまいりました。節目となる第 15 回は、約 40 年の歴史の中で初めて医用高分子分野の研究者と共同で開催し、さらに国外初の開催地として、当該分野の発展著しい台湾・台北を選びました。

高分子ゲル研究者が開催してきましたこれまでのシンポジウムでは、高分子ゲルおよび関連材料科学・工学の基礎研究から応用に向けた最新課題までを対象としてきました。テーマは、高分子ゲルの理論、合成、分析から、食品、化粧品、ヘルスケア、医療、農業、エネルギー、エラストマー、ゴム、その他高分子ネットワーク関連材料、さらにはアクティブソフトマターに至るまで、多岐にわたります。

一方、医用高分子研究者には、合成高分子・生体高分子を基盤とし、人類の健康と福祉に資する材料の研究開発を推進してきた長い歴史があります。近年は、生化学・分子生物学・細胞生物学の成果に加え、機械学習やデータサイエンスを積極的に導入し、医学・薬学・歯学・獣医学などへ波及する学際領域形成を牽引するとともに、産業界との協力体制も充実しています。

両分野の研究者は長年にわたり、高分子に関する研究を国際的に牽引し、特に若手研究者の育成と交流のエコシステムを継続的に支え、その発展を先導してきました。

口頭発表は、各国からの著名な研究者による招待講演で構成されます。また、ポスター発表も行われ、皆様からの多数のご参加をお待ちしております。さらに、若手研究者のポスター発表には複数の発表賞が設けられます。

地理的にも歴史的にも深いつながりを持ち、経済・文化・技術交流が活発な最も近いパートナーの一つである台湾にて、皆様とお会いできることを楽しみにしております。

謹白

2025 年 11 月吉日

ゲルシンポジウム 2027

大会長

松元 亮 （東京科学大学）

田中 賢 （九州大学）

James Lai （National Taiwan Univ. of Science and Technology）

# Greeting

Dear Colleagues,

We are delighted to announce that the Gel Symposium 2027 -15<sup>th</sup> Joint International Symposium on Polymer Gels and Biomedical Polymers - will be jointly organized and hosted by leading researchers in the fields of polymer gels and biomedical polymers. Since its inception in Tsukuba (1989), the symposium has been held under the sole auspices of polymer-gel researchers, with the 14th meeting in Okinawa (2024) marking nearly four decades of continuous success. The upcoming 15th symposium represents a historic milestone: for the first time, it will be co-hosted with researchers in biomedical polymers and, notably, held outside Japan. We are honored to bring this event to Taipei, Taiwan—a rapidly emerging hub of innovation in this field.

The symposium has long provided a platform spanning fundamental research to cutting-edge challenges in practical applications of polymer gels and related materials science and engineering. Topics include theory, synthesis, and characterization of polymer gels, as well as their diverse applications in food, cosmetics, healthcare, medicine, agriculture, energy, elastomers, rubber, polymer networks, and active soft matter.

Meanwhile, researchers in biomedical polymers have a long-standing tradition of advancing the development of materials—rooted in both synthetic and biological polymers—that contribute to human health and well-being. In recent years, it has integrated insights from biochemistry, molecular and cell biology, and increasingly, machine learning and data science. By collaborating across disciplines such as medicine, pharmacy, dentistry, and veterinary science, it continues to pioneer dynamic interdisciplinary research and foster strong partnerships with industry.

Researchers in both fields have long been at the forefront of polymer science internationally, continuously supporting and fostering an ecosystem for the development and exchange of young researchers, thereby driving progress in the field.

The program will feature invited lectures by leading international scholars, along with poster sessions open for contributions from participants. Outstanding poster presentations by young researchers will be recognized with Poster Awards.

We warmly invite you to join us in Taiwan—a close partner of Japan, connected by deep geographical and historical ties and vibrant exchange in economy, culture, and technology. We look forward to welcoming you to this landmark symposium.

Sincerely,  
November 2025

Gel Symposium 2027)

Chairpersons

Akira Matsumoto (Institute of Science Tokyo)

Masaru Tanaka (Kyusyu University)

James Lai (National Taiwan Univ. of Science and Technology)

## 2. 開催概要

(1) 名 称

Gel Symposium 2027 –15<sup>th</sup> Joint International Symposium on Polymer Gels and Biomedical Polymers-

ゲルシンポジウム 2027 (第 15 回 高分子ゲルと医用高分子に関する合同国際シンポジウム)

(2) 大 会 長

松元 亮 (東京科学大学)

田中 賢 (九州大学)

James Lai (National Taiwan Univ. of Science and Technology)

(3) 会 期 2027 年 2 月 28 日 (日) ~ 3 月 3 日 (水)

(4) 会 場 国立台湾科技大学

No. 43, Section 4, Keelung Road, Da'an District, Taipei City, Taiwan 106.

(5) プログラム

Plenary Lecture: 5 件 (国内外) (招待)

Keynote Lecture: 15 件 (国内外) (招待)

Invited Talks: 50 件 (国内外) (招待)

Poster Presentation: 100 件 (国内外) (推定)

(6) 参加者数 約 200 名 (予定)

(7) Website <https://gelsymposium.com/>

(8) 本シンポジウムに関するお問い合わせ先

松元 亮

東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10

Phone: +81-3-5280-8020

Email: matsumoto.bsr@tmd.ac.jp

## Organizing Committee

### Chairpersons

Akira Matsumoto (Institute of Science Tokyo)

Masaru Tanaka (Kyusyu University)

James Lai (National Taiwan Univ. of Science and Technology)

### Advisory Board

Eiji Yashima (National Tsing Hua University)

Ging-Ho Hsiue (National Chung Hsing University)

Hsu-Wei Fang (TAIPEI TECH)

Jian Ping Gong (Hokkaido University)

Kazunari Akiyoshi (Kyoto University)

Kazunori Kataoka (Innovation Center of NanoMedicine)

Kevin C.-W. WU (National Taiwan University)

Kohzo Ito (The University of Tokyo)

Mitsuhiro Shibayama (CROSS)

Rong-Ming Ho (National Tsing Hua University)

Ryo Yoshida (The University of Tokyo)

Takashi Miyata (Kansai University)

Takehiko Kitamori (National Tsing Hua University)

Yoshihito Osada (RIKEN)

Yukio Nagasaki (National Cheng Kung University)

### Local Organizing Committee

Akifumi Kawamura (Kansai University)

Akira Kakugo (Kyoto University)

Atsushi Miura (Kitami Institute of Technology)

Aya Akimoto (Ochanomizu University)

Chia-Chih Chang (National Yang Ming Chiao Tung University)

Eri Ito (Tohoku University)

I-Hsuan Yang (National Sun Yat-sen University)

Kennji Urayama (Kyoto University)  
Kimio Sumaru (AIST)  
Koichi Mayumi (The University of Tokyo)  
Koki Sano (Shinshu University)  
Kosuke Okeyoshi (JAIST)  
Mitsuhiro Ebara (NIMS)  
Ru-Siou Hsu (National Yang Ming Chiao Tung University)  
Ryota Tamate (NIMS)  
Shintaro Nakagawa (The University of Tokyo)  
Shohei Ida (University of Shiga Prefecture)  
Taka-aki Asoh (Tokyo University of Science)  
Takamasa Sakai (The University of Tokyo)  
Takayuki Nonoyama (Hokkaido University)  
Takumi Katashima (The University of Tokyo)  
Takeshi Ueki (NIMS)  
Tomohiro Hayashi (Institute of Science Tokyo)  
Toshiki Sawada (Institute of Science Tokyo)  
Tsukuru Masuda (The Univ. of Tokyo)  
Wei-Wen Liu (National Taiwan University)  
Xiang Li (Hokkaido University)  
Yasuhiko Iwasaki (Kansai University)  
Youn Soo Kim (POSTECH)  
Yukikazu Takeoka (Nagoya University)  
Yung-Hsin Cheng (National Taiwan University of Science and Technology)  
Yusuke Yasuda (AIST)

## 4. 企業展示のご案内

### 1. 企業展示について

- (1) 開催日程                    2027年2月28日（日）、3月1日（月）、3月2日（火）、3月3日（水）
- (2) 会            場                    企業展示：国立台湾科技大学 国際大樓
- (3) 募集概要

#### ■企業展示

種類	単位	小間サイズ	場所	募集小間数	出展料 (税込)
基礎小間	1小間	W1,800mm×D900mm ×H2,100mm	国際大樓	5小間 (予定)	220,000円
スペース小間	1小間	W1,800mm×D900mm			

※スペース小間にてお申込みの場合、床面に墨出しの上、お引き渡しいたします。

(バックパネル、社名板、アームスポット等は設置されません)

- (4) 展示小間割の決定  
事務局にて決定いたします。
- (5) 出展物  
事務局の認めたものとします。
- (6) 出展者へのご案内  
開催の1ヶ月前頃に小間割、搬入、装飾、管理等についての詳細をご連絡いたします。  
什器・照明器具等のリースにつきましてもこの時にあわせてご案内いたします。
- (7) 出展物の販売は会期中禁止となっており、現金と引き換えに出展物を引き渡すことは禁止いたします。但し、事務局の認めたものは限定的に許可する場合がございます。
- (8) 会場の管理  
会場および出展物の保全については、最善の保護と管理にあたりますが、天災その他の不可抗力による事故、盗難、紛失、および小間内における人的被害の発生については責任を負いません。
- (9) 会期・開場時間・開催場所の変更



## お申し込み連絡先：

松元 亮  
東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10  
Phone: +81-3-5280-8020  
Email: matsumoto.bsr@tmd.ac.jp

### (2) お支払い方法

お申込み締め切り後、運営事務局より出展料請求書をお送りいたしますので、請求書記載の指定口座へ期日までにお振込みください。

### (3) 変更・中止

主催者は、不可抗力又は止むを得ない事由により、本企業展示の開催期間および開催時間の変更、又は開催の中止等を行う場合もあります。

中止の場合、出展料は返金いたしません。また、出展者側にてそれまでに要した費用も貴社負担となります。

申込み形態にかかわらず、出展申込みの取消又は申込み内容の変更は原則として認めませんが、

止むなく出展の取消又は申込み内容の変更を行う場合は、その理由を明記した文書を主催者に

提出し、承諾を得てください。なお、出展料は返金いたしません。

### (4) キャンセルポリシー

申し込み受付後、共催社様の都合による申し込みの取消しは、原則としてできません。

申し込み受付後、やむなく取消しを行なう場合は文書にて事情を明記していただき、事務局までご連絡ください。組織委員長の承認をいただいた後の取消となります。

契約成立後、止むを得ない事情により取り消しをされる場合は、以下の通り規定の取り消し手数料を申し受けますので、予めご了承ください。

- ・ 申込受付後～2026年11月30日（月）まで : 共催費の30%
- ・ 申込受付後～2027年1月31日（日）まで : 共催費の50%
- ・ 2027年2月1日（月）以降 : 共催費の100%



## 2. お申込みについて

- (1) 上記内容をご確認いただき、下記へご連絡ください。お申込み多数の場合、採用企業の決定につきましては事務局一任とさせていただきますので予めご了承ください。なお、お申込み期間につきましては2027年2月1日（月）までとさせていただきます。ただし、募集小間数に達した時点でお申込みを締め切らせていただきますので予めご了承ください。

### お申し込み連絡先：

松元 亮  
東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10  
Phone: +81-3-5280-8020  
Email: matsumoto.bsr@tmd.ac.jp

### (2) お支払い方法

広告掲載枠が決定後、運営事務局より広告掲載料請求書をお送りいたしますので、請求書記載の指定口座へ期日までにお振込みください。

### (3) キャンセルポリシー

申し込み受付後、共催社様の都合による申し込みの取消しは、原則としてできません。  
申し込み受付後、やむなく取消しを行なう場合は文書にて事情を明記していただき、事務局までご連絡ください。大会長の承認をいただいた後の取消となります。

契約成立後、止むを得ない事情により取り消しをされる場合は、以下の通り規定の取り消し手数料を申し受けますので、予めご了承ください。

- ・ 申込受付後～掲載開始まで : 共催費の 30%
- ・ 掲載開始後 : 共催費の 100%

## 6. 寄附金募金のご案内

### 1. 寄附金募金要項

(1) 募金の名称

Gel Symposium 2027 開催寄附金

(2) 募金目標額

300 万円

(3) 募金の対象先

化学、材料、医薬、ワクチン、食品、機器、その他関連企業、団体

(4) 募集期間

2025 年 11 月吉日～2027 年 1 月 31 日（日）

(5) 寄附金の用途

2027 年 2 月 28 日（日）～3 月 3 日（水）の 4 日間、国立台湾科技大学において開催される「ゲルシンポジウム 2027」の準備、運営および関連諸行事等の費用に充当させていただきます。

(6) 寄附金のお申込み方法

上記内容をご確認いただき、下記へご連絡ください。なお、お申込み期間につきましては 2027 年 1 月 31 日（日） までとさせていただきます。

松元 亮

東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10

Phone: +81-3-5280-8020

Email: matsumoto.bsr@tmd.ac.jp

(7) 寄附金の払込方法

お申込みいただきました方へ別途指定口座をご案内させていただきます。

(8) 税法上の取扱い

免税措置はありません。